

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

施策体系コード	2-1-1		事業名	元気活動創出事業
担当	市民まちづくり局市民自治推進室市民活動促進担当課 高田 211-2964			
全体計画 (当初)				
事業内容	本市が目標とする市民自治が息づくまちづくりの実現に向けて市民の元気な活動を創出していくことが求められていることから、市民の有する力を生かすため、魅力ある地域づくりなどのテーマに即した事業の企画提案を市民から募り、その中で公益性や効果の高い企画を提案した市民活動団体に委託する市民企画提案型モデル事業を実施する。また、市民活動を促進する施策の基本原則となる市民活動促進条例の制定に向けた準備 (委員会 の 設 立、運 営) を行 っ た。		< 年度別の事業内容 >	
			[16年度] 市民企画提案型モデル事業 地域において提供されている社会資源に関する調査 市民活動団体に関する調査 [17年度] 市民企画提案型モデル事業 市民活動促進条例検討協議会運営事業 [18年度] 市民企画提案型モデル事業 市民活動促進条例制定に向けた取組	
事業内容 (量・場・規模等)	平成16年度事業内容 (決算)		平成17年度事業内容 (決算)	
	市民企画提案型モデル事業 (3,946千円) 元気ビジョンで掲げられた「中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援」や「魅力ある地域づくりの推進」というテーマについて事業を募集し実施した。 採択案件 「中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援」2件 (1,979,250円) ・SOHO・マイクロビジネス・テレワーカーとしての創業の促進と事業拡大のための営業マッチング支援 ・仲間を集めて思いを形に 起業設立支援事業 「魅力ある地域づくりの推進」4件 (1,966,650円) ・季節限定ボランティアの情報発信事業 ・食農教育を通じた地域資源の掘り起こしと活用 ・地域におけるごみ減量・リサイクル活動の推進を図る事業 ・農業を通じた地域の魅力発見や地域資源の活用を図る事業 地域において提供されている社会資源に関する調査 (1,491千円) 市民活動団体に関する調査 (2,310千円)		市民企画提案型モデル事業 (3,946千円) 元気ビジョンで掲げられた「魅力ある地域づくりの推進」(4,000千円限度)というテーマについて事業を募集し実施した。 採択案件 「魅力ある地域づくりの推進」4件 (3,945,900円) ・さっぽろ「人と自然に優しい市民の足づくり」事業 ・なまら便利なバスマップ製作事業 ・地域活性化プロジェクト・地域力を高めるために「あったらいいな」を創造する事業 ・札幌の文化高揚及び集客を目指した、街角からの美術等文化活動を図る事業 市民活動促進条例検討協議会 (4,873千円) 市民自治が息づくまちづくりの実現に向けて市民の元気な活動を創出していくことが求められている中、それを実現するために基本原則といえる市民活動促進条例の制定に向けた取組を行う。 協議会委員謝礼875千円 (10人 × 12,500円 × 7回) 市民活動促進条例検討協議会運営経費3,998千円	
事業内容 (量・場・規模等)	平成18年度事業内容 (決算)		評価 (成果)	
	市民企画提案型モデル事業 (4,012千円) 市民活動促進条例素案に掲げられた市民活動支援策のうち、「活動の場の支援」及び「人材の育成支援」について事業を募集し実施した。「市民活動の場に関する情報の収集整理を行う事業…」、「人材と市民活動団体のマッチングを図る事業…」の二つをテーマとした。 採択案件 2件 (3,961,965円) 「場」の支援・市民活動未来予想図作成事業 市民活動団体のリクルーティングと人材マッチングの研究事業 ・選考委員謝礼 50千円 市民活動促進条例制定に向けた取組 (3,748千円) 市民自治が息づくまちづくりの実現に向けて市民の元気な活動を創出していくことが求められている中、それを実現するために基本原則といえる市民活動促進条例の制定に向けた取組を行った。 協議会委員謝礼125千円 パブリックコメント意見集計分析824千円 市民活動促進条例検討協議会運営経費2,799千円		市民企画提案型モデル事業については、委託終了後も引き続き事業が自主的に行われたり、団体と関係部課との連携により事業が継続化したりするなど、市民主体のまちづくりの実現に向けて一定の成果を得たと考えている。 また、市民活動促進条例検討協議会により提出された、「市民活動を促進するための条例策定に向けた提言」に関して、各方面からの意見を聴くとともに、パブリックコメント等を経て多くの市民意見を条例案に反映することができた。	
課 題				
市民企画提案型モデル事業については、これまで一定のテーマに基づき実施してきており、一定の成果を得たが、次の段階として新たな事業のあり方について検討していく必要がある。 また、市民活動促進条例については、引き続き条例の必要性について、広く一般市民に周知を行っていき、早期に制定を図る必要がある。				
19年度以降の方向性・事業の予定				
市民企画提案型モデル事業については、一定のテーマに基づき委託事業で実施してきたが、今後地域のまちづくりの支援をテーマに取り組んでいきたい。 市民活動促進条例については、早期制定を目指す。制定後も条例を実効性あるものとし時代の変化に的確に対応させるために、基本計画を策定するとともに、市民・企業・行政が対等の立場に立って進める「(仮称)市民活動促進テーブル」での継続的な課題検討を進めていく。				

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書（単位：千円）

施策体系コード	2-1-1		事業名	元気活動創出事業(市民の元気な活動の創出)
---------	-------	--	-----	-----------------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	7,900	10,000	10,100	28,000	-
	財源					
	国・道支出金	3,900	0	0	3,900	-
	市内債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
一般財源	4,000	10,000	10,100	24,100	-	
実績	事業費	7,747	8,819	7,760	24,326	86.9
	財源					
	国・道支出金	3,801	0	0	3,801	-
	市内債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
一般財源	3,946	8,819	7,760	20,525	-	

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

市民企画提案型モデル事業については、[16年度][17年度]ともに当初計画どおり実施。[18年度]も引き続き実施。
 市民活動促進条例検討協議会については、17年度からの事業であるが、当初計画では全6回の開催予定であったが、より市民の意見を提言に反映させることができるよう、全8回開催した以外は、当初計画どおり実施。[18年度]については、協議会から提出された提言を元に、市民アンケート、パブリックコメント等を実施し、18年第4回定例市議会への条例案を提出した。

項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠外	16年度	17年度	18年度	計
元気活動創出事業			7,747	8,819	7,760	24,326
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			7,747	8,819	7,760	24,326